

# 古田校区「地域づくりアンケート」回答結果

(2021年6月アンケート)

## 【分析結果】

「質問1の項目」(校区での生活の困りごと)から浮かび上がった校区の姿は、次のようである。「家と地域社会」「地域共同体」「生活と生計」の3つの要素が、相互に悪循環サイクルをなしている。

第1の「家と地域社会」は、「継承の危機」にある。家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなっている。

第2の「地域共同体」は、「解体の危機」にある。学校・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。

第3の「生活と生計」は、「消滅の危機」にある。地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。これらによって立つ基盤には、2つの側面がある。

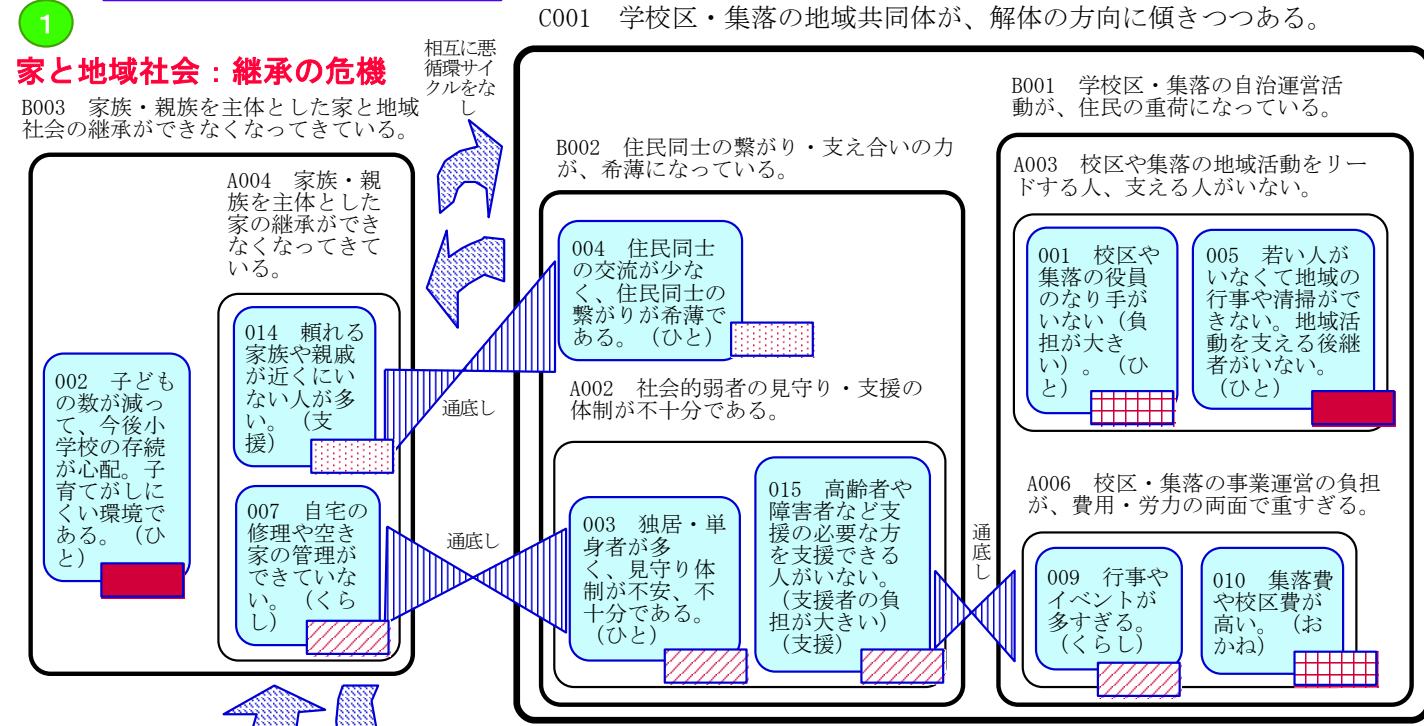
一方は「交通手段」で、「不便」である。交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。もう一方は「防災対応」で、「手薄」となっている。道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。

以上のように、現在の困りごとをそのまま放置すると近い将来、校区の地域社会の存続が危ぶまれる状況におかれていることが、浮かび上がった。

校区で生活するなかで、どのお困りごとがありますか？  
「質問1の項目」から浮かび上がる校区の姿

### 古田校区：全体集計 2 地域共同体：解体の危機

C001 学校区・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。



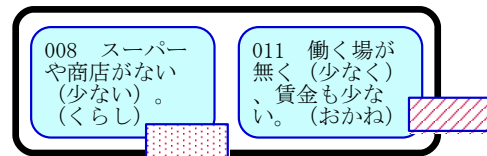
### ■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	176.1~220	■
B	132.1~176	▨
C	88.1~132	▧
D	44.1~88	▩
E	0.1~44	□

(最高得点：219点)  
(回答者数：221人)

### 3 生活と生計：消滅の危機

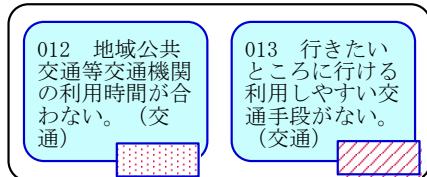
C002 地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。



拠って立つ基盤には

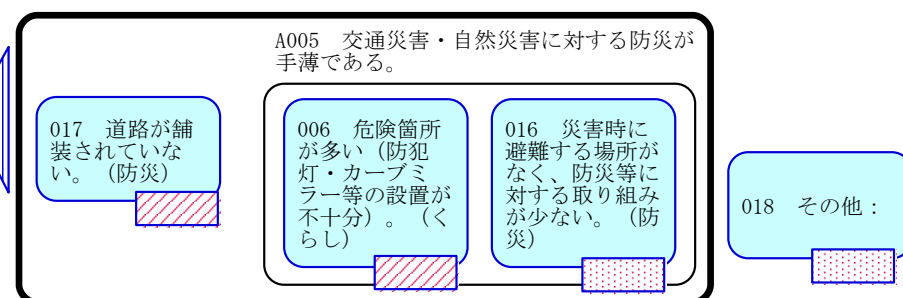
### 4 交通手段：不便

A001 交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。



### 5 防災対応：手薄

C003 道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。



- (1) 2021年7月7日
- (2) 情報工房
- (3) 校区アンケート「質問1」の質問17項目
- (4) 山浦晴男

注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。  
注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。  
注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。